



# **MyBeacon® Fun (MB005 Ac-SR)**

## **取扱説明書**

**Edition 1.0.5**

株式会社アプリックス

2015年8月13日

## 概要

MyBeacon<sup>®</sup> Fun は、センサーやスイッチを繋げて Beacon 送信の ON/OFF を自由に制御できる電子回路基板です。

本製品が送信する Beacon データの Proximity UUID、Major、Minor、Measured Power、output power は、Beacon 設定アプリケーションを使って変更することができます。

## 製品仕様

項目	値
Bluetooth <sup>®</sup> ver	Bluetooth Ver. 4.1 (Bluetooth Smart : Bluetooth Low Energy, single-mode)
通信モジュール	JM1-L2S
LED	なし
動作環境	温度-20 ~ 75°C、湿度 20 ~ 80% (結露無きこと)
保存温度	-40 ~ 85°C
消費電力 (電源電圧 3V 供給時)	Beacon 送信 ON 状態 0.290mA Beacon 送信 OFF 状態 0.005mA
電源電圧	DC 1.8 ~ 3.6V
外形寸法 (W×D×H)	34.0×34.0×4.4mm
重量	約 2g

## Beacon 送信データ

出荷時に設定されている、Beacon が発信する電波の初期値は以下のとおりです。

項目	初期設定値
Measured Power	-52dBm
output power	0dBm

Beacon が送信するデータは、動作確認用に仮の値が設定されています。Beacon 設定アプリケーションで適切な値に設定してからご使用ください。出荷時に設定されている仮の値は以下のとおりです。

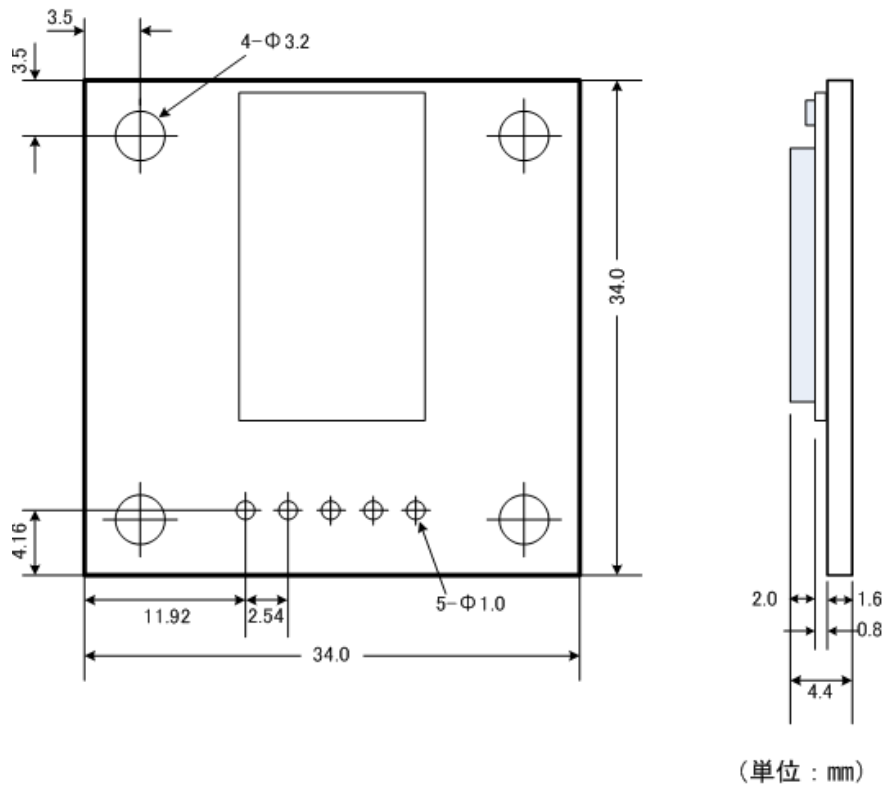
項目	仮設定値
Proximity UUID	BOFC4601-14A6-43A1-ABCD-CB9CFDDB4013
Major	1-65535 のいずれか
Minor	1-65535 のいずれか

## 入力端子特性 (WAKE、MODE1、MODE2)

電源電圧を VDD とします。

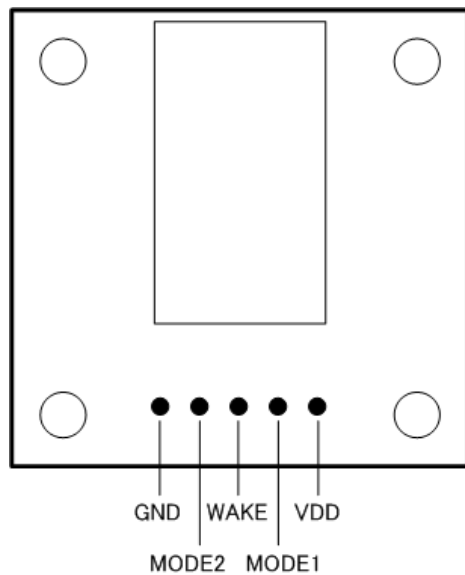
項目	値
端子入力 電圧範囲	-0.4~VDD+0.4V
端子入力 low レベル	-0.4~0.4V
端子入力 high レベル	-0.7×VDD~VDD+0.4V

## 外形寸法図



MyBeacon Fun 外形寸法図

## 端子構成



MyBeacon Fun 端子構成

端子名	説明
VDD	電源入力端子
MODE1	モード選択制御端子 0 アクティブ・ハイ、プルダウン済み
WAKE	Beacon 送信開始制御端子 アクティブ・ハイ、プルダウン済み
MODE2	モード選択制御端子 1 アクティブ・ハイ、プルダウン済み
GND	グラウンド

## 動作

電源投入から 30 秒間は Beacon 設定アプリケーションからの接続待ち状態になります。この間に Beacon 設定アプリケーションで MyBeacon Fun を選択することにより、Beacon データの設定を変更できます。

電源投入から 30 秒後に Beacon 送信の ON/OFF を制御できるようになります。最初の Beacon 送信の状態は OFF です。

### ■ Beacon 送信 ON/OFF の制御

WAKE、MODE1、MODE2 の 3 つの端子を使って、4 種類の Beacon 送信の ON/OFF 制御ができます。

各端子の状態が変化すると、電圧レベルが安定するまで一定時間（100ms）high/low の状態の判定を遅らせることにより、チャタリングによる誤動作を防止しています。

---

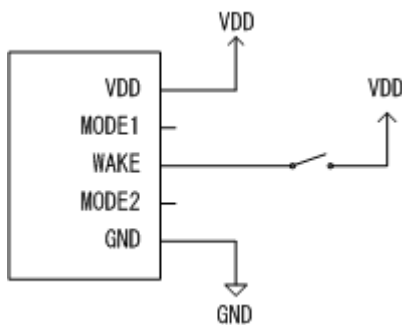
**ノート** Beacon データを常時送信する動作はサポートしていません。

---

#### (1) 一定時間 Beacon 送信

MODE1、MODE2 のどちらも open (または low) の状態で WAKE を high にすると、一定時間 (30 秒間) Beacon データを送信します。

モーメンタリー型スイッチを押してから一定時間 Beacon を送信したいときに使用します。

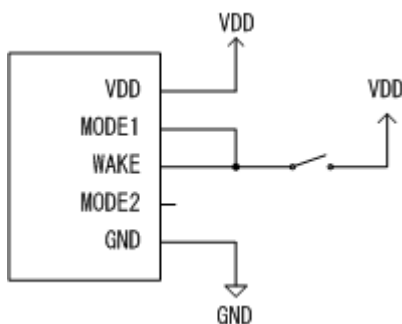


一定時間 Beacon 送信 参考回路図

#### (2) スイッチ押下中 Beacon 送信

MODE1 が high、MODE2 が open (または low) の状態で WAKE を high にすると、MODE1 が high である間 Beacon データを送信します。

モーメンタリー型スイッチを押している間 Beacon を送信したいときや、オルタネート型スイッチで Beacon を送信したいときに使用します。

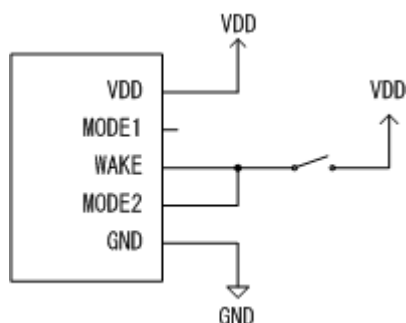


スイッチ押下中 Beacon 送信 参考回路図

### (3) 1 スイッチで Beacon 送信 ON/OFF

MODE1 が open (または low)、MODE2 が high の状態で WAKE を high にすると、再度 MODE2 が high にされるまでの間 Beacon データを送信します。

モーメンタリー型スイッチを押すたびに Beacon の送信を ON/OFF したいときに使用します。

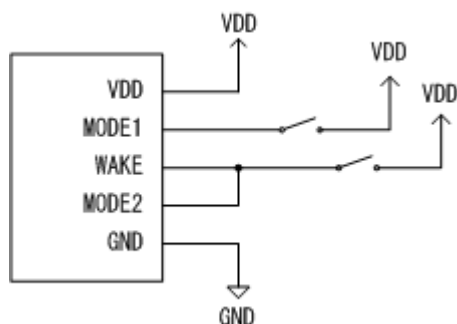


1 スイッチで Beacon 送信 ON/OFF 参考回路図

### (4) 2 スイッチで Beacon 送信 ON/OFF

MODE1 が open (または low)、MODE2 が high の状態で WAKE を high にすると、MODE1 が high にされるか、または再度 MODE2 が high にされるまでの間 Beacon データを送信します。

1 つのモーメンタリー型スイッチ (MODE2 に接続) で Beacon の送信を ON、もう 1 つのモーメンタリー型スイッチ (MODE1 に接続) で Beacon の送信を OFF にしたいときに使用します。



2 スイッチで Beacon 送信 ON/OFF 参考回路図

## ■ その他の電子工作情報

各種センサーを繋いだ応用例などの電子工作情報は、弊社ホームページの「[MyBeacon Fun MAKERS ZONE](#)」でもご紹介しています。

## 法規制の順守

本製品は通信モジュール（JM1-L2S）として、各法令・規制に順守しています。以下に本製品が順守している法令・規制の一覧を示します。

Country	Standard
日本	証明規則第二条第一項第 19 号に掲げる無線設備 認証番号：007-AB0143
アメリカ	FCC CRF Title47 Part15 Subpart C FCC ID：08CJM1L2S
カナダ	IC RSS-210 IC ID：10551A-JM1L2S
欧州	EN 300 328 (2006-10) EN 60950-1 (2006) EN 62479:2010 EN 301 489-1 (2011-09) EN 301 489-17 (2009-05)
カンボジア	カンボジア無線規則 TRC ID:0003 2014-1L2S
中国	SRRC 認証 CMIIT ID：2014DJ3646
台湾	LP0002( Low-power Radio-frequency Devices Technical Specifications) CCAM14LP0290T1

(2014 年 11 月現在)

### Bluetooth SIG

Bluetooth QD ID：54876, 46832

### 環境対策

RoHS 指令対応

## ■ 本製品を使用した試作開発時および製品化する場合の各法令・規制に関する注意点

### 技術基準適合証明(技適)

試作開発時および製品化の際に、組み込み後の最終製品にて技術基準適合証明（技適）を受ける必要はありません。

### FCC/IC

試作開発時および製品化の際に、組み込み後の最終製品にて FCC ID、および IC ID を再取得する必要はありません。最終製品および最終製品のユーザーマニュアルへの表記要件については「米国・カナダの規制について」を参照してください。

### 欧州 CE マーキング制度

本製品を組み込んだ最終製品にて再度アセスメントが必要な場合があるため、認証機関などに問い合わせてください。

### 中国

本製品を組み込んだ最終製品仕様により CCC（中国強制製品認証制度）認証や NAL（網アクセス免許）が必要な場合があるため、認証機関などに問い合わせてください。最終製品および最終製品のユーザーマニュアルへの表記要件については「中国マーケットアクセスについて」を参照してください。

### 台湾

本製品を組み込んだ最終製品のカテゴリにより BSMI (Bureau of Standards, Metrology and Inspection) による EMC 検査が必要な場合があるので、認証機関などに問い合わせてください。最終製品および最終製品のユーザーマニュアルへの表記要件については「台湾マーケットアクセスについて」を参照してください。

### シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、インドネシア

上記の国や地域の無線規則は、本製品を組み込んだ最終製品での認証が必要となります。認証機関な

どに問い合わせてください。

### **上記以外の国や地域**

本製品を組み込んだ最終製品の仕向け地によって、最終製品での認証が必要な場合があります。認証機関などに問い合わせてください。

### **Bluetooth**

本製品は Bluetooth 認定プログラム参考文書 (PRD) に基づき、認定済み設計リスト (QDL) に登録されています (QD ID: 54876, 46832 Company: Aplix Corporation)。

お客様は、本製品を組み込んだ最終製品を上記認定済み設計リストに対して自己宣言および製品登録を完了することにより、Bluetooth ロゴを表示して市場に出荷することが可能となります。

詳細は以下の文書を参照してください。

<https://www.bluetooth.org/en-us/Documents/Using-the-Bluetooth-Brand-Getting-Started-Guide.pdf>

上記の記述はすべて、通信モジュールに一切改造や仕様変更が加えられていないことが前提となります。また、上記の法令・規制などの効力が及ばない国での使用においては該当国の法令に基づき認証を取得する必要があります。

## 米国・カナダ (FCC/IC) の表示要件について

本製品を最終製品に組み込む場合、製品の仕向け地に応じていくつかの表記要件があります。詳細について以下の FCC および IC の公式文書を参照してください。

- FCC: Code of Federal Regulations, Title 47, Part 15. *RADIO FREQUENCY DEVICES*.
- IC: Radio Standards Specification. *General Requirements and Information for the Certification of Radio Apparatus*

### FCC/IC ID

最終製品の仕向け地に応じて、製品上の見やすい位置に FCC ID と IC ID のどちらかまたは両方を表記しなくてはなりません。書式は、FCC および IC それぞれについて次に示す 2 種類のどちらかを採用できます。

#### FCC:

- Contains Transmitter Module FCC ID: O8CJM1L2S
- Contains FCC ID: O8CJM1L2S

#### IC:

- Contains Transmitter Module IC: 10551A-JM1L2S
- Contains IC: 10551A-JM1L2S

### FCC/IC Notice

以下のステートメントを製品上の見やすい位置に表記しなくてはなりません。ただし、製品が小さくステートメントの表記が難しい場合は、製品のユーザーマニュアル、またはパッケージに記載することも可能です。

仕向け地がカナダの場合は、英語とフランス語の両方の表記が必要となります。

English words

This device complies with Part 15 of FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

French words

Le présent appareil est conforme aux la partie 15 des règles de la FCC et CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

### FCC CAUTION

仕向け地がアメリカの場合、製品のユーザーマニュアルに以下のステートメントを含める必要があります。

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

### Radio Frequency Exposure Compliance

製品のユーザーマニュアルに、製品の種別に応じて以下のステートメントを含める必要があります。仕向け地がカナダの場合は、英語とフランス語の両方の表記が必要となります。



### Mobile Device:

English words

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment has very low levels of RF energy that it deemed to comply without maximum permissive exposure evaluation (MPE). But it is desirable that it should be installed and operated keeping the radiator at least 20cm or more away from person's body (excluding extremities: hands, wrists, feet and ankles).

French words

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles les radioélectriques (RF) de la FCC lignes directrices d'exposition et d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation de l'exposition maximale autorisée. Cependant, cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

### Portable Device:

English words

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment has very low levels of RF energy that are deemed to comply without testing of specific absorption ratio (SAR).

French words

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles les radioélectriques (RF) de la FCC lignes directrices d'exposition et d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation du débit d'absorption spécifique (DAS).

製品の種別は以下のように定義されています。

Mobile device	Products operated in the distance more than 20 cm from person's body.
Portable device	Products operated within 20 cm from person's body.

## Declaration of Conformity with regard to the R&TTE directive 1999/5/EC

We hereby declare that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

[http://www.aplix.co.jp/ce\\_cert](http://www.aplix.co.jp/ce_cert)



# 中国 (CMIIT) の表記要件について

## 最終製品の表記要件

以下のステートメントを製品上の見やすい位置に表記してください。

本设备包含型号核准代码(分别)为: CMIIT ID: 2014DJ3646 的无线电发射模块

## ユーザーマニュアルの表記要件

以下のステートメントを最終製品のユーザーマニュアルに表記してください。

1.
  - 使用频率: 2.4 - 2.4835 GHz
  - 等效全向辐射功率(EIRP):
    - 天线增益 < 10dBi 时:  $\leq 100$  mW 或  $\leq 20$  dBm
  - 最大功率谱密度:
    - 天线增益 < 10dBi 时:  $\leq 20$  dBm / MHz (EIRP)
  - 载频容限: 20 ppm
  - 带外发射功率(在 2.4-2.4835GHz 频段以外)
    - $\leq -80$  dBm / Hz (EIRP)
  - 杂散发射(辐射)功率(对应载波 $\pm 2.5$ 倍信道带宽以外):
    - $\leq -36$  dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz)
    - $\leq -33$  dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz)
    - $\leq -40$  dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz)
    - $\leq -40$  dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz)
    - $\leq -30$  dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz)
2. 不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器), 不得擅自外接天线或改用其它发射天线;
3. 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰; 一旦发现有干扰现象时, 应立即停止使用, 并采取措施消除干扰后方可继续使用;
4. 使用微功率无线电设备, 必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰;
5. 不得在飞机和机场附近使用;
6. 本设备包含型号核准代码(分别)为: CMIIT ID: 2014DJ3646 的无线电发射模块

参考和訳：

1.
  - 使用周波数： 2.4-2.4835 GHz
  - 等価等方放射電力(EIRP)：  
アンテナ利得<10 dBi時：  $\leq 100$  mW あるいは  $\leq 20$  dBm
  - 最大放射電力密度：  
アンテナ利得<10 dBi時：  $\leq 20$  dBm/MHz (EIRP)
  - キャリア周波数許容範囲： 20 ppm
  - 帯域外放射電力(2.4-2.4835GHz 範囲以外)：  
 $\leq -80$  dBm / Hz (EIRP)
  - スプリアスエミッション(対応チャンネル帯域幅の $\pm 2.5$ 倍以外)：  
 $\leq -36$  dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz)  
 $\leq -33$  dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz)  
 $\leq -40$  dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz)  
 $\leq -40$  dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz)  
 $\leq -30$  dBm / 1 MHz (その他 1 - 12.75 GHz)
2. 勝手に周波数を変更したり、送信出力(追加された無線周波数アンプを含む)を大きくしたりしてはならない。また、勝手にアンテナを取付けたり、その他の発信アンテナに変えてはならない。
3. 使用の際、各種合法的無線通信業務に対し、有害な妨害を発生させてはならない。妨害現象を発見した場合は、即刻使用を停止すること。妨害除去の措置をとって初めて継続使用が可能となる。
4. 微弱無線設備を使用する場合、各種無線業務の妨害もしくは工業、科学、医療応用設備の輻射妨害を受容しなければならない。
5. 飛行機および飛行場付近で使用してはならない。
6. 製品は、認可済みの無線モジュール CMIIT ID: 2014DJ3646 を内蔵しています。

## 台湾（NCC）の表記要件について

### 最終製品の表記要件

以下のステートメントを製品上の見やすい位置に表記してください。

本製品内含射頻模組 CCAM14LP0290T1

### ユーザーマニュアルの表記要件

以下のステートメントを最終製品のユーザーマニュアルに表記してください。

#### 第十二條

型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

#### 第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

※ MyBeacon はアプリアックス I P ホールディングス株式会社の登録商標です。

※ Bluetooth および Bluetooth に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 the Bluetooth Special Interest Group (SIG) の商標または登録商標です。

※ その他の記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

株式会社アプリアックス

〒169-0051 東京都新宿区新宿西早稲田二丁目 20 番 9 号